2026 年 11 月 7 日

第 67 回 全 国 スポーツ推 進 委 員 研 究 協 議 会

林　　但

11 月 5 日～6 日にかけて、群馬県高崎市にある「G メッセ群馬」に、全国からスポーツ推進委員と市町村担当者、その他スポーツ関係者が 3,000 名を超えて大会テーマ「未来につなぐ群雄であれ」のもと開催されました。

11 時受付、歓迎のアトラクションは東京農業大学第二高等学校吹奏楽部によるパフォーマンス、開会式・表彰式と続きました。

表彰では、文部科学大臣表彰 78 名（神奈川県 7 名：**横須賀は鈴木幸子氏**）、全国スポーツ推進連合表彰：功労者表彰 172 名（神奈川県 15 名）優良団体表彰 34 団体（海老名市）、30 年勤続スポーツ推進委員感謝状 295 名（神奈川県 32 名）等である。いずれも代表者のみが壇上に上がり表彰状を受けるため、関東大会のように一人一人ではない。

基調講演は、群馬県前橋市出身の NHK サッカー解説者で元日本代表の小島伸幸氏である。演題は「スポーツがつなぐ人と地域、そして未来へ」です。広い会場で、大会幹事ブロックの関東の席は後方・音響設備の関係かよく聞き取れない、また、提供資料も少ないためよくわからなかった。

スポーツ庁からの情報提供は、「部活動地域展開等の全国的な実施と地域スポーツ環境の充実」であった。続いてこの日の最後は、シンポジウムです。毎年上手なコーディネートをされる、立教大学特別専任教授の松尾哲矢氏、他にシンポジストの 3 氏です。「新たな時代におけるスポーツ推進委員の役割と地域スポーツの普及に向けて」である。

2 日目の分科会は、横須賀市は**第一分科会　テーマは「部活動の地域展開とスポーツ推進委員」～スポーツを通じた地域社会の形成～**。今回大会に参加した中では一番有意義であった。紹介されたのはいずれも成功の事例で町長や教育長などがもともとスポーツ推進委員に近いところの方・理解者などであった。　苦労話を入れていただくとよかったと思う。とはいえ、紹介頂いた中に、キーワード、考え方などで参考になるのは、以下です。①地域の人口構成　②地域展開・垣根を越えて　③指導とともに見守りでも可＝**サポーターバンク**　④地域展開で考える視点、**会場・保険・会計・連絡・指導者・移動**　⑤定例会会議とスポーツ指導・体験

＜感じたこと気づいたこと他＞

■初日の夜、神奈川県の受賞者祝賀会は参加の方137名の中、約9割（121名）が参加。　受賞者の一言、その後は他市町の方と情報交換。横須賀三浦ブロックは受付と司会を担当。

■子ども目線の改革、地域でどうする。　この秋横須賀市内の学区でも子供、その親たちが地域活動によく出てこられる場面を見ている。　どうして、なぜこのような仕組みに・・・

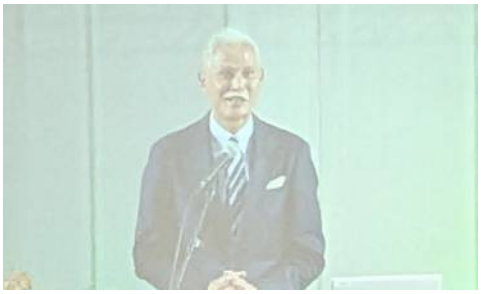
■全国連合副会長（高知県会長）とお会いして、お礼の言葉と防災的な考え方を取り入れた運動会の話・情報交換ができたこと。



歓迎のパフォーマンス



表彰式



講演：小島伸幸氏



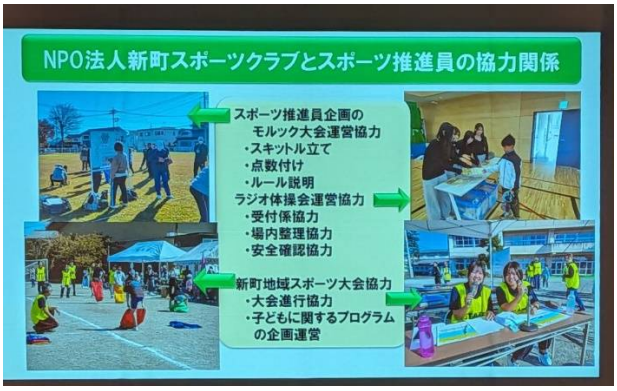
会場後方から



県祝賀会　鈴木氏



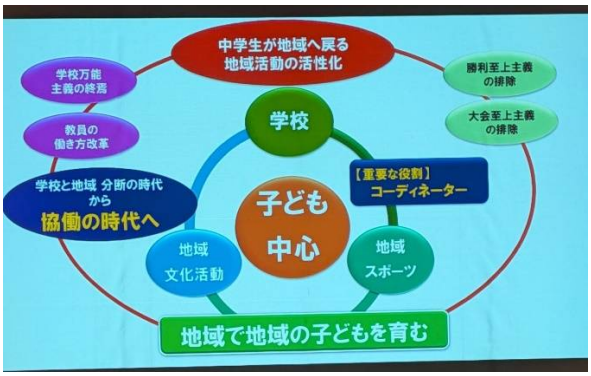
2 日目分科会　1



分科会　2



分科会　3



分科会　4